



波打ち際に向かうオカヤドカリ
＝大和村の国直海岸

オカヤドカリ幼生を放出

大和村の国直海岸で、国指定天然記念物のオカヤドカリの雌が、ふ化したばかりの幼生を海に放っている。夜になると、打ち寄せた波に合わせ、体を動かし、砂浜を歩き回ったりする姿が見られる。放幼は8月いっぱい続くん見込み。

和海中1ヵ月で成長

の脱皮でグラウコトエと呼ばれる段階に変態。その後、貝殻を背負って上陸し、もう1回脱皮して、稚ヤドカリになる。

5月、オカヤドカリを奄美大島から許可なく持ち出そうとしたとして逮捕者が出た。奄美市の自然公園指導員の常田守さん(78)はこれを機に、捕獲は違法との周知や、アダン林などの環境保全が進めばいい。観察を通し、生物の多様性を守る大切さを感じて」と話した。(右田雄二)

2025年7月30日付11面

【問1】 大和村の国直海岸で、オカヤドカリの雌は何をしているのでしょうか。

ふ化したばかりの幼生を海に放っている。

【問2】 問1は、いつごろまで続く見込みなのでしょう。

8月いっぱい。

【問3】 オカヤドカリは、どこに生息しているのでしょうか。

奄美大島や徳之島、沖縄。

【問4】 オカヤドカリの幼生は、何度の脱皮で稚ヤドカリになるのでしょうか。

6度。

【考えてみよう】

オカヤドカリについて、調べてみよう

むずかしい漢字とことば

雌(めす) 幼生(よう・せい)＝生きものの発生とちゅうのもので、卵(たまご)から出て生活しはじめたが、まだ親と同じ形になっていないもの 砂浜(すな・はま) 姿(すがた) 放幼＝カニやオカヤドカリのメスが、お腹に抱えた卵から生まれたばかりの幼生を海中に放つ行動を指します 見込(み・こ)み 奄美(あま・み) 呼(よ)ぶ 段階(だん・かい) 貝殻(かい・がら) 背負(せ・お)う 稚(ち)＝幼いこと。こども 逮捕(たい・ほ) 捕獲(ほ・かく) 違法(い・ほう) 環境(かん・きょう)

